

新型コロナウイルス感染予防対策

2020 / 06 / 18 版

株式会社 東京音響通信研究所

最初に

これは劇場・ホールに代表される演出空間において、マイクやヘッドセット、音響連絡設備などを運用するにあたり、新型コロナウイルス感染を防止する観点から、重要な留意事項をまとめたものです。

マイクやヘッドセットは複数の出演者やスタッフが同じ空間で共用するものであり、素手で触り、頭髮や衣服に装着したり、口腔の近くで使用するものであることから、新型コロナウイルスの感染ルートとなる可能性があります。また医療施設においては、機器の操作ボタンやタブレット端末といった、プラスチック製品を経由して感染が広がった事例も報告されており、その感染経路の多様さは、頻発するクラスター感染や院内感染などを見ても明らかです。

現時点では感染の有無を確実に検査する方法も確立されておらず、無症状感染者ではないという保証も出来ない状況ですので、感染拡大の可能性のあるルートを減らしていき、安全を確保することが重要です。

弊社では自己への感染を回避するとともに、他人に感染させないように徹底するために以下のことに留意して作業いたします。

現場担当者の留意すべき事項

- ・日々の検温など、自己の健康管理・記録を徹底する。
- ・使用機器・機材の消毒や、作業スペースの清拭を定期的実施する。
- ・他セクションのスタッフや、出演者に接する機会が多いステージ担当者は、マスク着用や手指消毒を徹底する。
- ・狭い舞台袖においても可能な限りソーシャルディスタンス（2 m）を保つ。
- ・作業員が集まらないとできないような作業（スピーカーのスタッキングなど）は、安全性を考慮してなるべく最少人数で無理をせず作業する。
- ・大きな声で会話するような状況を極力作らないようにする。（事前の打ち合わせの徹底、トランシーバーの利用など）。
- ・作業スペースの通気・換気を可能な限り確保する。
- ・ボイカルマイク、トークマイクは可能な限り使い回さない。
やむを得ず使い回す場合はマイクヘッドのみの交換をする。もしくは次々項の消毒作業を実施する。
- ・マイクセッティングの変更の際には、出演者との距離に注意する。
- ・現場で食事をとる際は向かい合わせで座らない。
- ・開場中の客席に入る際には、観客との距離に気をつける。
- ・客入れ音楽は観客同士の会話を阻害しないよう、音量を控える事が効果的だと考える。

ワイヤレスマイク・インイヤーマニターで留意すべき事項

- ・ワイヤレスマイク（マイク、送信機の本体）の消毒を毎日実施する。
- ・1セット毎に離して管理する。また1つのセットを複数の出演者で使い回す場合には、適時、消毒作業を行う。
- ・送信機ポーチや腰ベルトの洗濯、マイクヘッドの汗養生の交換などの頻度を増やす。
- ・開演前の装着時間を長めに設定し、複数の出演者が一度に集まることのないようにする。
- ・終演後も同様に、時間差をつけて回収するか、各楽屋前に回収箱を設け、順次回収する。
- ・ハンドマイクはなるべく手渡しせず、マイク用のトレイなどを使う。
- ・ヘッドセットマイクやピンマイク、インイヤーマニターの着脱をケアした場合は、その都度手指消毒をする。

消毒方法について

ダイナミックマイク・コンデンサーマイク

- ・マイクヘッドを取り外し、マイクロフォンクリーンシャワー(MRC-ZERO)を噴霧する。
http://www.jassc.com/mt/tuuhan/tuuhan_01.html
- ・上記のような製品が入手できない場合は、濃度 50vol%以上の消毒用アルコールを、市販のファインミストボトルに入れ、噴霧する。
- ・マイク本体には濃度 50vol%以上の消毒用アルコールで拭き上げる。
- ・マイクの使用者がアルコール過敏症である場合には、作業後の乾拭きと乾燥を徹底する。
- ・風防(ウレタンフォーム)については中性洗剤をぬるま湯で溶かして溶液を作る。この溶液に浸し、軽くもみ洗いした後に水で濯ぎ、その後十分に乾燥させる。

インカム ヘッドセット・イヤフォン

- ・ヘッドセット本体やアーム部、ヘッドパッド、サイドパッドなどは、濃度 50vol%の消毒用アルコールで拭き上げる。1分程度おいたのち、乾拭きする。
- ・イヤパッドやマイクの風防(ウレタン)については、上記の方法の他に、ヘッドセットから取り外して消毒用アルコールを噴霧する。
- ・イヤフォン本体、イヤピースは濃度 50vol%以上の消毒用アルコールで拭き上げる。

マイクスタンド・ケーブル

- ・出演者が触れるマイクスタンド、ケーブル等については濃度 50vol%以上の消毒用アルコールで拭き上げる。

機器操作ボタン・ツマミ・フェーダーなど

- ・金属製や樹脂製のボタンは、濃度 50vol%以上の消毒用アルコールで拭き上げる。

最後に

以上の事項に留意して作業を行うため通常よりも多く時間を要する事が多々起こると想定されます。

作業時間、作業スペース等に関しまして、事前の打合せや現場にてご相談させていただくことが

あると思います。

新型コロナウイルス感染予防の為、ご協力の程よろしくお願いいたします。

参考資料

「舞台での感染を防ぐために」

(公社) 劇場演出空間技術協会(JATET) 音響部会

<https://www.jatet.or.jp/tech/sound/data/COVID19.pdf>

株式会社 東京音響通信研究所

〒134-0086

東京都江戸川区臨海町 3-6-1

Tel:03-3877-5801/Fax:03-3877-5816

<http://www.tokyo-onken.co.jp/>